



第7回 『高等学校 新地理総合』
「世界の気候と人々の生活」「世界の産業と人々の生活」での地図帳活用

地図帳から読み解く 「世界の産業と人々の生活」

大阪教育大学附属高等学校平野校舎 鈴木 康平 (すすき こうへい)

『高等学校 新地理総合』
第2部第1章
『新詳高等地図』



■地図帳で読み解く世界の産業

『新詳高等地図』(以下、地図帳)には、一般図だけでなく、多くの主題図が掲載されている。その中には、「世界の産業」に関するものも多く、「生産／産出地域や量を示したドットマップや図形表現図」「輸出入の流れを示した流線図」「従事者の割合の変化を年代比較した階級区分図」などが代表的なものである。これら以外にも多くの主題図が見られ、中には「灌漑地の広がりとおガララ帯水層」(地図帳 p.85)「ルール工業地域の変化」(同 p.64)「輸出総額のうち1位の品目が占める割合」(同 p.44)など、文字情報だけではイメージが難しく、地図にすることで大きな効果を発揮するものも少なくない。

さて、地理の学習、特に地理的思考力を育むための学習においては、①各地で見られる個別の事象を基に、それらの概念や特徴を一般化していくこと(帰納法)や、②一般化した概念を異なる地域や分野へと転移させ、国家間・地域間の共通点や相違点を見いだしていく(演繹法)ことが重要になる。

このような学習をする際に、上述した多種多様な主題図が役に立つ。①に関しては、一般化するために、多くの情報を整理する必要がある。その際、文字だけで情報を集めるより、地図で確認する方が理解しやすい。また、②に関しても、地図を用いて比較する方が、共通点・相違点を見いだしやすいのは明らかである。

今回は、産業の中でも特に「農業」に焦点を当て、農業に関する学習と地図帳が果たす役割について考えたい。

■自然環境と農業

農業の発達には、自然条件(地形・気候・土壌など)と社会条件(市場までの距離・交通の発達・資本・技術など)が密接に関わっている。どちらの条件も重要だが、特に地形と気候は極めて重要であり、この2つの要素でホイットルシーの農業地域区分の大部分を推察することが可能になる。そこで、農業の学習をする際は、最初に各地の地形と気候を把握することから始めたい。

地形に関しては地図帳の鳥瞰図(p.11～12、p.47～48、p.77～78など)が分かりやすい(図1)。鳥瞰図を用いることで、地域を平面ではなく立体で捉えることができるため、より実際の様子に近いイメージを持つことが可能になる。このイメージを持った上で、一般的な色分け図(等高段彩図)の読み取りを行うと、より理解を深めることができるだろう。地形と農業の関係では、平地か山地か、水はけが良いか否か、かつて氷河に覆われていたか否かなどが重要なポイントになってくる。そうした点を地図から読み取れるようにしたい。

気候に関しては、まずはp.141～142のケッペンの気候区分を示した地図がベースとなる(図2)。この地図の見方や気候のメカニズムを理解した上で、各地の気候を示した地図を確認するのがよいだろう。各農作物には、栽培に適した気候(気温・降水量など)が存在する。農業を理解するためにも、各地の気候の正確な読み取りが求められる。

地形と気候の両方を押さえられたら、各農作物の栽培条件を確認したい。栽培条件に関しては、地図帳には記載がないため、教科書や資料集で確認せざるを得ないように思われる。しかし、少し発展的な課題にはなるが、各地の農作物の分布図を基に、それぞれの農作物の栽培条件を推察することも可能である(図3)。地形・気候・栽培条件を理解することができれば、各地で営まれている農業の大部分が理解できるはずである。

■地図帳が持つ意義

以上のことから、産業を学ぶ際も、地図帳は大きな効果をもたらすといえる。「地」図から諸現象の「理」を見いだすことも「地理」を学ぶ重要な柱であると感じている。



写真 『高等学校 新地理総合』 p.128 ① 広大な小麦畑での大型機械を用いた収穫作業(写真提供: サイネットフォト)



図1
『新詳高等地図』p.77～78
『①北アメリカの鳥瞰図』

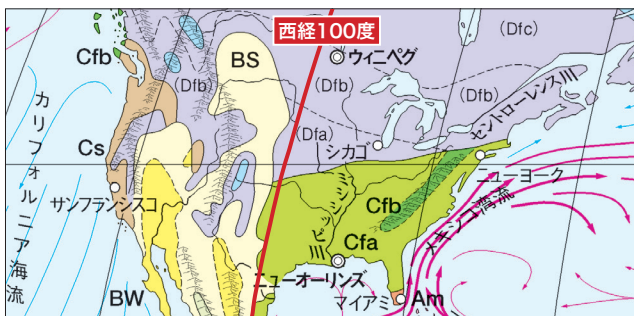


図2 『新詳高等地図』p.141『①世界の気候区と海流』(部分)



授業ではこう使う！

図1 図2 から分かるように、アメリカ合衆国は、西経100度を軸に東西で地形や気候が大きく異なり、それに伴い人々の生活にも違いが見られる。アメリカ合衆国を扱う際は、まず西経100度にラインを引き、東側は湿潤・平たん、西側は乾燥・急峻であることを読み取ることが重要である。自然環境を把握した上で、各産業や人口問題などに移行していきたい。図1 には代表的な農作物が記されているので、これらを確認した後に図3 につなげると理解しやすいだろう。



分布を基に、各農作物の特徴や栽培条件を考えてみましょう。

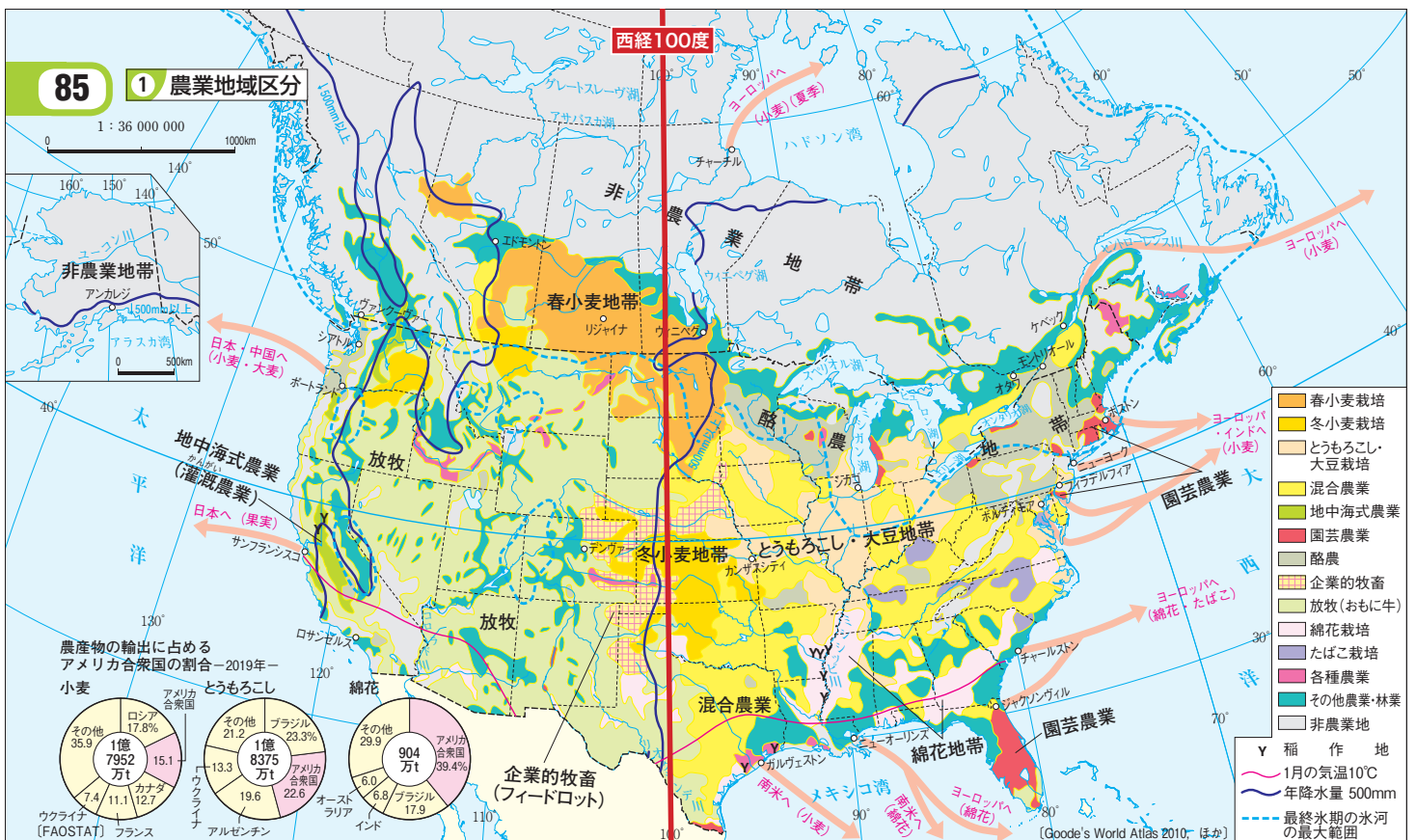


図3 『新詳高等地図』p.85『①農業地域区分』



授業ではこう使う！

アメリカ合衆国の農業に関しては、各地の自然環境の特色に合わせて、最適な農業（適地適作）が営まれていることを理解したい。また、図3 の分布を基に、各農作物の特徴を考えてもよいだろう。



分布を基に、各農作物の特徴や栽培条件を考えてみましょう。